第3回

島原市農業委員会総会議事録

注：発言の内容については、その要旨を記載しております。
(発言そのものの記載ではありません。)

この公開用議事録は個人情報に関連すると思われる部分等については削除しています。

令和 5年 8月28日 (月) 午後 4時03分
於：島原市役所有明庁舎 3階大会議室

1. 開会日時 令和 5年 8月28日(月) 午後 4時03分
2. 閉会時間 令和 5年 8月28日(月) 午後 5時09分
3. 開催場所 島原市役所有明庁舎 3階大会議室
4. 出席委員者の数 18名
 - 1番 北浦 守金
 - 2番 田上 豊
 - 3番 森 浩則
 - 4番 稲田 勝
 - 5番 水本 正一郎
 - 6番 林田 靖仁
 - 7番 田浦 秀子
 - 8番 尾崎 栄
 - 9番 松崎 慎太郎
 - 10番 入江 敏昭
 - 11番 森本 勝也
 - 12番 米田 公明
 - 14番 祐田 久男
 - 15番 林田 了星
 - 16番 太田 武春
 - 17番 金子 利範
 - 18番 廣瀬 光徳
 - 19番 村里 枝美子
5. 欠席委員者の数 1名
 - 13番 北尾 健一郎
6. 農地利用最適化推進委員出席者の数 2名
 - 安中 佐藤 幸平
 - 大野 井上 和利
7. 報告事項
 - 報告第1号 農地法第18条第6項の規定(合意解約)による通知書について
 - 報告第2号 使用貸借解約通知書について
8. 議案
 - 第1号議案 農地法第3条第1項(所有権移転)の規定による許可申請について
 - 第2号議案 農地法第5条第1項の規定による許可申請について
 - 第3号議案 非農地証明願について
 - 第4号議案 農業経営基盤強化促進法による農用地利用集積計画(案)について
 - 第5号議案 農地中間管理機構を介した農用地利用集積等促進計画(案)について
 - 第6号議案 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想の一部改正(案)について

午後 4時03分開会

議長

ただ今より、第3回島原市農業委員会の総会を開催いたします。

本日、13番 北尾 健一郎 委員は所要のため欠席と連絡がっております。

本日出席者数は、農業委員会等に関する法律第27条第3項の規定により定足数に達しておりますので総会は成立しております。

議事録署名委員の指名につきましては、島原市農業委員会会議規則第15条第2項の規定により、議長が指名することになっており、…番 ……委員、…番 ……委員を指名します。

議長

はじめに、事務局から報告があります。

事務局

報告第1号 農地法第18条第6項の規定（合意解約）による通知書について報告します。

以降、着席にて、ご説明させていただきます。

議案集1ページから3ページに記載のとおりで、8件 21筆 24, 465平方メートルの届けがありました。

次に、報告第2号 使用貸借解約通知書について報告します。

議案集4ページから5ページに記載のとおりで、4件 12筆 16, 327平方メートルの届けがありました。

以上で報告を終わります。

議長

ただ今の報告に対して、ご質問等はありませんか。

（「なし」という発声）

議長

ご質問等がないようですので、議案に入ります。

第1号議案 農地法第3条第1項（所有権移転）の規定による許可申請の1番について上程いたします。事務局の説明を求めます。

事務局

第1号議案 農地法第3条第1項（所有権移転）の規定による許可申請の1番について説明します。

1番の譲受人及び譲渡人は、議案集6ページ、1番に記載のとおりで、畑 1筆 396平方メートルを贈与するための申請です。

取得後の耕作面積は、396平方メートルで、農機具は、トラクター 1台、耕耘機 1台を

所有しており、すべての許可要件を満たしております。

以上で説明を終わります。ご審議のほど、よろしく申し上げます。

議長

ただ今の説明に関連して、現地調査員より現地調査の結果並びに補足説明をお願いいたします。……委員。

(……委員)

第1号議案 農地法第3条第1項(所有権移転)の規定による許可申請の1番について報告します。

1番の譲受人は15年の農作業歴があります。申請地も含め人参を作付けし、通作距離は自宅から100mということで、問題なしとみております。

ご審議のほど、よろしく申し上げます。

議長

ただ今説明がありましたが、第1号議案の1番について、ご意見等はありませんか

(「なし」という発声)

議長

ご意見等がありませんので、第1号議案の1番について、許可することにご異議ありませんか。

(「異議なし」という発声)

議長

ご異議なしと認めます。よって、第1号議案 農地法第3条第1項(所有権移転)の規定による許可申請の1番は許可することに決定いたします。

次に、第1号議案 農地法第3条第1項(所有権移転)の規定による許可申請の2番を上程いたします。事務局の説明を求めます。

事務局

第1号議案 農地法第3条第1項(所有権移転)の規定による許可申請の2番について説明します。

2番の譲受人及び譲渡人は、議案集6ページ、2番に記載のとおりで、畑 1筆 366平方メートルを贈与するための申請です。

取得後の耕作面積は、18,259.65平方メートルで、農機具は、トラクター 2台、キャリー 2台、トラック 3台、動力噴霧器 1台を所有しており、すべての許可要件を満たしております。

以上で説明を終わります。ご審議のほど、よろしく申し上げます。

議長

ただ今の説明に関連して、現地調査員より現地調査の結果並びに補足説明をお願いいたします。……委員。

(……委員)

第1号議案 農地法第3条第1項(所有権移転)の規定による許可申請の2番について報告します。

2番の譲受人は40年の農作業歴があります。

家族5人で農業を営んでおり、申請地も含め、しょうが、白菜、人参等を作付けし、通作距離は自宅から1キロということで、問題なしとみております。

ご審議のほど、よろしく申し上げます。

議長

ありがとうございます。

ただ今、説明がありましたが、第1号議案の2番について、ご意見等はありませんか。

(「なし」という発声)

議長

ご意見等がありませんので、第1号議案の2番について、許可することにご異議ありませんか。

(「異議なし」という発声)

議長

ご異議なしと認めます。よって、第1号議案 農地法第3条第1項(所有権移転)の規定による許可申請の2番は許可することに決定いたします。

次に、第1号議案 農地法第3条第1項(所有権移転)の規定による許可申請の3番を上程します。事務局の説明を求めます。

事務局

第1号議案 農地法第3条第1項(所有権移転)の規定による許可申請の3番について説明します。

3番の譲受人及び譲渡人は、議案集6ページ、3番に記載のとおりで、畑 2筆 4,358平方メートルを贈与するための申請です。

取得後の耕作面積は、98,008.49平方メートルで、農機具は、トラクター 3台、コンバイン 3台、田植機 3台を所有しており、すべての許可要件を満たしております。

以上で説明を終わります。ご審議のほど、よろしく申し上げます。

議長

ただ今の説明に関連して、現地調査員より現地調査の結果並びに補足説明をお願いいたします。……委員。

(……委員)

第1号議案 農地法第3条第1項(所有権移転)の規定による許可申請の3番について報告します。

3番の譲受人は40年の農作業歴があります。

家族4人で農業を営んでおり、申請地も含め、水稻、ブロッコリー、白菜等を作付けし通作距離は車で20分ということで、問題なしとみております。

ご審議のほど、よろしく申し上げます。

議長

ありがとうございます。

ただ今、説明がありましたが、第1号議案の3番について、ご意見等はありませんか。

(「なし」という発声)

議長

ご意見等がありませんので、第1号議案の3番について、許可することにご異議ありませんか。

(「異議なし」という発声)

議長

ご異議なしと認めます。よって、第1号議案 農地法第3条第1項(所有権移転)の規定による許可申請の3番は許可することに決定いたします。

次に、第2号議案 農地法第5条第1項の規定による許可申請の1番を上程いたします。事務局の説明を求めます。

事務局

第2号議案 農地法第5条第1項の規定による許可申請の1番について説明します。

譲受人及び譲渡人は、議案集7ページ、1番に記載のとおりで、申請地234平方メートルを譲り受け、木造平屋建住宅を建築したいとの申請です。

申請地は、都市計画区域内の第一種住居地域であることから、第3種農地と判断しております。

被害防除計画は別途添付しておりますので説明を省略いたします。

以上で説明を終わります。ご審議のほど、よろしく申し上げます。

議長

ただ今の説明に関連して、現地調査員より現地調査の結果並びに補足説明をお願いいたします。……委員。

(……委員)

第2号議案 農地法第5条第1項の規定による許可申請の1番について報告します。

申請地は……の一角にあり、北側及び東側は宅地、南側及び西側は道路となっております。

切土造成し、雨水は溜桝へ、汚水及び生活雑排水は合併浄化槽を経由して道路側溝へ放流となっております、問題なしと見て参りました。

ご審議のほど、よろしく申し上げます。

議長

ありがとうございます。

ただ今、説明がありましたが、第2号議案の1番について、ご意見等はありませんか。

(「なし」という発声)

議長

ご意見等がありませんので、第2号議案の1番は許可相当と認めることでよろしいでしょうか。

(「異議なし」という発声)

議長

ご異議なしと認めます。よって、第2号議案 農地法第5条第1項の規定による許可申請の1番は許可相当と認め、県知事に意見書を送付することに決定いたします。

次に、第2号議案 農地法第5条第1項の規定による許可申請の2番を上程いたします。事務局の説明を求めます。

事務局

第2号議案、農地法第5条第1項の規定による許可申請の2番について説明します。

譲受人及び譲渡人は、議案集7ページ、2番に記載のとおりで、申請地105平方メートルを譲り受け、物置を設置したいとの申請です。

申請地は、農業振興地域内の農用地区域外で、おおむね10ヘクタール以上の規模の一団の農地の区域内にある農地で、第1種農地と判断され、本来であれば農地転用は不許可になりますが、既存施設の拡張で既存施設の敷地面積の2分の1を超えない転用であることから、許可が可能と判断しております。

被害防除計画は別途添付しておりますので説明を省略いたします。

以上で説明を終わります。ご審議のほど、よろしく申し上げます。

議長

ただ今の説明に関連して、現地調査員より現地調査の結果並びに補足説明をお願いいたします。……委員。

(……委員)

第2号議案 農地法第5条第1項の規定による許可申請の2番について報告します。

申請地は……の一角にあり、北側は農地、東側は宅地、南側は道路、西側は農地となっております。

現状のまま利用し、雨水は自然流下となっており、問題なしと見て参りました。

ご審議のほど、よろしく申し上げます。

議長

ありがとうございます。

ただ今、説明がありましたが、第2号議案の2番について、ご意見等はありませんか。

(「なし」という発声)

議長

ご意見等がありませんので、第2号議案の2番は許可相当と認めることでよろしいでしょうか。

(「異議なし」という発声)

議長

ご異議なしと認めます。よって、第2号議案 農地法第5条第1項の規定による許可申請の2番は許可相当と認め、県知事に意見書を送付することに決定いたします。

次に、第2号議案 農地法第5条第1項の規定による許可申請の3番を上程いたします。事務局の説明を求めます。

事務局

第2号議案、農地法第5条第1項の規定による許可申請の3番について説明します。

譲受人及び譲渡人は、議案集7ページ、3番に記載のとおりで、申請地387平方メートルを譲り受け、木造二階建住宅を建築したいとの申請です。

申請地は、農振地域内の農用地区域外で、市街地の区域等に近接する10ヘクタール未満であることから、第2種農地と判断しております。

被害防除計画は別途添付しておりますので説明を省略いたします。

以上で説明を終わります。ご審議のほど、よろしく申し上げます。

議長

ただ今の説明に関連して、現地調査員より現地調査の結果並びに補足説明をお願いいたします。

す。……委員。

(……委員)

第2号議案 農地法第5条第1項の規定による許可申請の3番について報告します。

申請地は……の一角にあり、北側は宅地、東側及び南側は道路、西側は宅地となっております。

擁壁を設け、雨水は道路側溝へ、汚水及び生活雑排水は合併浄化槽を経由して道路側溝へ放流となっており、問題なしと見て参りました。

ご審議のほど、よろしく申し上げます。

議長

ありがとうございます。

ただ今、説明がありましたが、第2号議案の3番について、ご意見等はありませんか。

(「なし」という発声)

議長

ご意見等がありませんので、第2号議案の3番は許可相当と認めることでよろしいでしょうか。

(「異議なし」という発声)

議長

ご異議なしと認めます。よって、第2号議案 農地法第5条第1項の規定による許可申請の3番は許可相当と認め、県知事に意見書を送付することに決定いたします。

次に、第2号議案 農地法第5条第1項の規定による許可申請の4番を上程いたします。事務局の説明を求めます。

事務局

第2号議案 農地法第5条第1項の規定による許可申請の4番について説明します。

譲受人及び譲渡人は、議案集7ページ、4番に記載のとおりで、申請地127平方メートルを譲り受け、露天駐車場用地として利用したいとの申請です。

申請地は、農振地域内の農用地区域外で、市街地の区域等に近接する10ヘクタール未満であることから、第2種農地と判断しております。

被害防除計画は別途添付しておりますので説明を省略いたします。

以上で説明を終わります。ご審議のほど、よろしく申し上げます。

議長

ただ今の説明に関連して、現地調査員より現地調査の結果並びに補足説明をお願いいたしま

す。……委員

(……委員)

第2号議案 農地法第5条第1項の規定による許可申請の4番について報告します。

申請地は……の一角にあり、北側は水路、東側は宅地、南側は水路、西側は宅地となっております。

盛土造成し、雨水は道路側溝へ放流となっており、問題なしと見て参りました。

ご審議のほど、よろしく申し上げます。

議長

ありがとうございます。

ただ今、説明がありましたが、第2号議案の4番について、ご意見等はありませんか。

(「なし」という発声)

議長

ご意見等がありませんので、第2号議案の4番は許可相当と認めることでよろしいでしょうか。

(「異議なし」という発声)

議長

ご異議なしと認めます。よって、第2号議案 農地法第5条第1項の規定による許可申請の4番は許可相当と認め、県知事に意見書を送付することに決定いたします。

次に、第3号議案 非農地証明願いの1番を上程いたします。事務局の説明を求めます。

事務局

第3号議案 非農地証明願いの1番について説明します。

申出人は、議案集8ページ、1番に記載のとおりで、昭和年月日不詳頃から、宅地として利用しています。

以上で説明を終わります。ご審議のほど、よろしく申し上げます。

議長

ただ今の説明に関連して、現地調査員より現地調査の結果並びに補足説明をお願いいたします。……委員。

(……委員)

第3号議案 非農地証明願いの1番について報告します。

申請地は……の一角にあり、北側は道路、東側は農地、南側は宅地、西側は道路となっております。

現地を見ますと、宅地として利用されており、非農地証明を交付することに問題なしと見て参りました。

ご審議のほど、よろしく申し上げます。

議長

ありがとうございます。

ただ今、説明がありましたが、第3号議案の1番について、ご意見等はありませんか。

(「なし」という発声)

議長

ご意見等がありませんので、第3号議案の1番は非農地証明書を交付してよろしいでしょうか。

(「異議なし」という発声)

議長

ご異議なしと認めます。よって、第3号議案 非農地証明願いの1番は非農地証明書を交付することに決定いたします。

次に、第4号議案、農業経営基盤強化促進法による農用地利用集積計画(案)について、上程いたします。事務局の説明を求めます。

事務局

第4号議案、農業経営基盤強化促進法による農用地利用集積計画(案)について説明します。

農業経営基盤強化促進法附則第5条第1項の規定に基づき、農用地利用集積計画(案)の承認を得ようとするものであります。

利用権設定については、議案集9ページから14ページに記載のとおりで、耕作権の新規設定 22件 55筆 51,206.15平方メートル、耕作権の再設定 5件 14筆 11,003.40平方メートルです。

次に、農業経営基盤強化促進法による所有権移転については、議案集 15ページに記載のとおりで、1件 2筆 668平方メートルです。

合計で28件 71筆 62,877.55平方メートルです。

以上で説明を終わります。ご審議のほど、よろしく申し上げます。

議長

ただいまの説明に対して、ご意見等はありませんか。

(「なし」という発声)

議長

ご意見等がありませんので、第4号議案を承認することに決定してよろしいでしょうか。

(「異議なし」という発声)

議長

ご異議なしと認めます。よって、第4号議案 農業経営基盤強化促進法による農用地利用集積計画(案)を承認することに決定いたします。

次に、第5号議案、農地中間管理機構を介した農用地利用集積等促進計画(案)について上程します。事務局の説明を求めます。

事務局

第5号議案、農地中間管理機構を介した農用地利用集積等促進計画(案)について説明します。

議案集の16ページから17ページをご覧ください。

この議案は、農地中間管理事業の実施に関する規程に基づき、30筆、33,732平方メートルの農地について、島原市から農用地利用集積等促進計画(案)が提出されましたので、農地中間管理事業の推進に関する法律第18条第11項に基づき農用地利用集積等促進計画を定めることを農地中間管理機構へ要請するものです。

別添② 添付資料の1ページから2ページを併せてご覧ください。

農地中間管理機構を介した農用地利用集積等促進計画(案)の受け手の詳細について、記載しております。

農地の受け手の「取得後の耕作面積」、「農機具の詳細」、「農作業従事日数」、「農業従事者」、「作物の種類」などを記載しており13名の方全員、すべての許可要件を満たしております。

以上で説明を終わります。ご審議のほど、よろしく申し上げます。

議長

ただ今の説明に対して、ご意見等はありませんか。

(「なし」という発声)

議長

ご意見等がありませんので、第5号議案は、問題なしということで、農地中間管理機構へ要請してよろしいでしょうか。

(「異議なし」という発声)

議長

ご異議がないようですので、第5号議案 農地中間管理機構を介した農用地利用集積等促進計画(案)は、問題なしということで、農地中間管理機構へ要請することに決定いたします。

次に、第6号議案 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想の一部改正（案）を上程いたします。事務局の説明を求めます。

事務局

第6号議案 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想の一部改正（案）について説明します。

この議案は、農業経営基盤強化促進法施行規則第2条の規定に基づく、島原市からの意見聴取の依頼によるものです。

内容については、農林課農業企画班、……主事が説明いたします。

(……主事)

皆さん、こんにちは。農林課農業企画班、……と申します。よろしく願いいたします。

私のほうからこの議案について説明させていただきます。

基本的な構想と申しますのは、農業経営基盤強化促進法という法律に基づいて市町村が策定できるものとして期待されています。

内容については、各市町村がその市町村の区域内で、効率的かつ安定的な農業経営の育成を図る場合において、その目標の明確化、営農類型ごとの経営規模や、生産方式、経営管理の方法、農業従事の対応等への指標を示すことと、それを実現するためにとるべき措置等を示したものとなります。

基本的な構想は、各市町村が定めることができるとされていますが、この上に長崎県が基本方針というものを作っておりまして、各市町村は県の基本方針の内容に沿って基本な構想を作ることになっております。

つまり、県の基本方針の改正、見直しのたびに、合わせて改正するものとなっており、令和5年5月に県の基本方針が改正されまして、それに合わせた市の基本な構想の見直しが必要ですので、今回改正をさせていただくことになりました。

基本な構想とは、概ね5年、10年先の農業の状態や、市が取るべき措置というのを見据えて作っているものです。令和3年度に、5年目を迎えた更新という形で見直しをします時に農業委員会から意見徴収をいただき、令和4年の4月に基本な構想を策定しました。今回、5年を待たずに、法律が改正されたことに合わせて県の基本方針が変わりましたので、見直しという形で一部改正をさせていただくこととなります。

基本的な構想の内容の主なものといえますと、まず認定農業者の認定、新たに農業経営を営もうとする青年を認定する認定新規就農者の認定、それから農業経営基盤強化促進法に基づく農地の貸借となっております。

今回の主な改正点は三つあります。

まず一つが、これまで認定農業者、認定新規就農者と呼ばれていた方たちを育成、確保しているという内容になっていましたものを、国のほうがそれだけではなくて、例えば兼業農家や、定年退職後に農業をされる方、農作業の受託サービスを生業とする会社など、そういった多様な人材も農業を守っていくために必要な人材ということで、基本的な構想にそのような人材を確保、育成していくことが大事だということを明記しなさいということになりましたので、今回多様な人材、「農業を担うもの」という言い方になりますが、これを基本的な構想に明記したもの

になります。

次の二つめとして、農業経営基盤強化法に基づく農地の貸借というものがもともとありましたが、法律の改正に伴いまして、この法に基づく農地の貸借が令和6年度をもってなくなるということで、令和6年度まではこの法に基づく農地の貸借は可能であります。その利用権設定についての事項を削除することになりました。

三つめは、人農地プランというものを、皆さんもお聞きしたことがあるかと思いますが、今後の農地を守っていく人たちがどういった方たちで、今後5年、10年先に誰が農地を使っていくのかというのを地域ごとに作ったものがもともとありました。これにつきましては国が制度として作ったものを法律を改正しまして、地域計画というものに変えて、実際に農業経営基盤強化法にその地域計画というものを法制化しました。これに基づきまして、市が地域計画を定めるための協議の場をどうやって設定するのか、地域計画を作るのはどういう区域なのか、そういったものを基本計画に明記しなさいと国から示されましたので、新たに地域計画に関する協議の場の設置や、区域の基準といったものを基本的な構想に明記させていただくことになります。

以上の三つが今回の基本的な構想の主な改正点になります。

他にも、文言の修正や、書いてある内容を他の条文と統合ということも改正内容となっております。

この基本的な構想につきましては、法律に基づいて農業委員会と管轄の農業協同組合に意見聴取を求めなければならないとなっておりますので、皆さんのご意見をお願いいたします。

事務局

以上で説明を終わります。ご審議のほど、よろしく申し上げます。

議長

ただいまの説明に対して、ご意見等はありませんか。

……委員。

(……委員)

2030年に1経営体当たりの農業所得の目標が400万円と書いてあるが、円安に伴う資材の値上がりがある中で算定の裏付けがなく、現実の状況とギャップがある。所得が400万円では農業をする人はいなくなるのではないか。ここ最近の農家はほとんどが赤字なので、次の世代は農業はしなくなると思う。

議長

ただいま……委員から意見がありましたが、……主事から回答がありましたらお願いします。

(……主事)

……委員が言われた400万円というのは、資料2ページの「効率的かつ安定的な農業経営の目標」にある年間農業所得が1経営体当たり400万円とあるところだと思いますが、これを設定した理由について説明させていただきます。

基本的な構想を定める理由が、農業経営の効率的かつ安定的な農業経営主を確保育成していく

ためとお伝えしたのですが、農業経営の効率的かつ安定的とはどういったものかということを経営上の解釈で申しますと、他産業並みの労働時間で、他産業並みの所得が得られる経営となります。例えばサラリーマンの場合、1日8時間の労働で、週休2日で年間100日が休みとしますと、年間の労働時間は2,000時間ぐらいとなります。このサラリーマンの年間所得の平均が400万円であるとしまして、農業も同じ労働時間で同じ所得が得られれば、それは他産業並みに効率的で経営も安定するだろうということで、目標を400万円と設定しました。まずは400万円になるように目指してくださいというのが今回の基本的な構想で示したものです。

これはあくまで指標であり、この水準になろうと頑張る人を私たちは支援します。例えば認定農業者向けの支援事業であるとか、認定新規就農者向けの制度とかは、全員に出せる支援ではありませんので、どういった方を支援していくかということや、どこかで決めなければなりませんので、島原市では400万円を目指そうと、400万円を達成した人はもっと頑張ってくださいということで設定しています。

他にも経営指標という形で、例えば露地野菜と施設野菜をしている人は、これぐらいの農地面積でないと所得が安定しないので、最低でもこれぐらいは目指して頑張ってくださいという意味で指標を示しているということになります。

実際の経営内容につきましては、国、県、市が制度を使って支援していくことはもちろんなのですが、経営改善については認定農業者であるとか、認定新規就農者といった方たちが、自分たちの経営をどう改善できるのか考えていただいて、それに市が支援していくとなっておりますので、この基本的な構想につきましては指標を作るためということでご理解をお願いします。

議長

はい、ありがとうございます。

……主事から今回の一部改正の内容については、農業というのは今後このような目標をもって経営にあたっていただきたいというものを設定したものだと言明がありましたが、他に意見はありませんか。

はい、……委員。

(……委員)

目標を市が立てた以上は、これを農業委員会としてどう取り組んでいくのか、その辺がはっきりしないと、指標を定めただけでは先に進まないと思うんです。だから、自分たちも検証をどうやって行くのか、説明してもらえれば助かります。

議長

はい、ありがとうございます。

……主事、いかがでしょうか。

(……主事)

基本的な構想の中で、農業委員会の立ち位置がどういったものなのかを、今回改正の分も含めて説明させていただきます。

まず、農業委員会の主な役目としまして、農地に関して困っている方や、農地を耕作できない

といった方たちの話を聞いていただいて、農地中間管理機構に農地を貸して、機構が適切な方に農地を貸しますといったことへの対応や、農地を守っていくために地域計画というのを市全体で策定していくことになるのですが、その計画を各地域で作ろうとしていますので、この地域は後継者に農地を集めたほうがいいのか、この地域は農業者が少なくなっているが、意欲がある人に集約したほうが良いとか、といった地域の中での意見を聞いていただいて、計画の中に反映させるための、意見の聞き役になっていただくことも農業委員会の基本的な構想の中での立ち位置としております。

今回の改正の中身はそういった部分ですので、農業委員会への意見聴取の回答としましては、基本的な構想の中で農地の相談を受ける相談役や、今後の地域の農業の在り方への意見を出してもらう役目を担っていただくということに対して、それに協力しますと言っていたのか、あるいは農業委員会はもっとできることがあるので、それも反映して良いと言ってくれるのか、そういった考え方でお願いします。

議長

はい、……委員、いかがでしょうか。

(……委員)

最後に一ついいですか。これは目標年度というのは決まってないのですが。女性参加、若年層の育成、土地改良や地域の活性化などにも取り組んでいかれようとしておられると思いますけど、目標年度は決まっているのですか。

議長

はい、……主事。

(……主事)

この基本的な構想といいますのは、県の基本方針が令和12年を目標となっておりますので、今回は12年というのを示しておりますけど、実際にそれまでに何をしていくのかということも、明記しているものと明記していないものがあります。

明記しているものとしては圃場整備関係です。あとは新規就農者の確保育成については、毎年10人以上ということは明記しておりますが、それ以外の女性の活躍や、兼業農家とか農作業受託組織の育成といったものは、数値的なものは明記しておりません。そういった部分については、地域計画といった中で具体的に決めていければと思っています。

議長

……委員、いかがでしょうか。

(……委員)

ありがとうございました。頑張って早急に整備も含めて具体的な目標に向かってやっていってください。

議長

ありがとうございます。今、……委員からご質問をしていただいて、……主事のほうから説明がありましたけれども、今回の一部改正については、農業委員、推進会員の皆さんにもご理解をいただいたのではないかと考えております。

そういうことで、他にご意見がないようでしたら、第6号議案は「問題なし」ということで市に回答してよろしいでしょうか。

(「異議なし」という発声)

議長

ご異議がないようですので、第6号議案 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想の一部改正(案)は「問題なし」ということで市に回答することに決定いたします。

議長

以上で、第3回島原市農業委員会に付議されました案件はすべて議了しました。

これで、第3回島原市農業委員会総会を閉会いたします。

終了時間 午後 5時09分